

新年度が始まって1ヶ月が経ちました。保育園生活には慣れてきたでしょうか？子どもたちは小さな体でたくさんのお話を吸収しています。いろいろなことを経験しながら神経を張り巡らし、そろそろ疲れがたまっている頃でもあります。お仕事をしていると家に帰ってからもやらなくてはならないことがたくさんありなかなか親子の時間がとりにくいかもかもしれませんが、夜のひととき、一緒にお風呂に入る、絵本を読むなどして、過ごしてみたいかでしょうか？親子のスキンシップがなによりのビタミン剤になるかと思います。

《町の健診・相談予定》

お子さんにとって大事な健診や相談です。
ご都合をつけて参加してください。

1歳児相談 5月17日（水）

R4年3月・4月生 9：00～（個別にご案内）

2歳6か月児相談 5月24日（水）

R2年9月・10月生 9：00～（個別にご案内）

3歳児健診 5月10日（水）

R2年3月・4月生 13：00～（個別にご案内）

☆保健福祉センター2階の健診室で行われます。森町保険ガイドにて内容、持ち物等確認してお出かけ下さい。

怪我・病気の時の園での対応

怪我について

怪我や傷の状態によって電話、おがスマで報告させていただきます。医療機関を受診する場合は、保護者さんにきて頂く事になります。

病気あけの登園について

症状が回復して「病院から登園していいですよ」と診断され、下痢嘔吐の場合は、普段の食事がとれ、便の回数が健康な時と変わらない、丸1日嘔吐が治まっている事などが登園目安になります。発熱の時は、熱が下がって24時間は、お家でゆっくりすごしましょう。安心して楽しい園生活を送るためにも子どもの体調と向き合う事をお願いします。



暑熱順化をご存じですか？

暑熱順化とは、体が暑さに慣れることです。暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて（暑熱順化）、暑さに強くなります。暑さに慣れていないと熱中症になる危険性が高まります。体が暑さに慣れること（暑熱順化）について知り、暑くなる前から熱中症の対策を行いましょう。

暑熱順化に有効な対策とは

体を暑さに慣れさせることが重要なため、実際に気温が上がり、熱中症の危険が高まる前に、無理のない範囲で汗をかくことが大切です。日常生活の中で、運動や入浴をすることで、汗をかき、体を暑さに慣れさせましょう。暑熱順化には個人差もありますが、数日から2週間程度かかります。暑くなる前から余裕をもって暑熱順化のための動きや活動を始め、暑さに備えましょう。

乳幼児の熱中症を防ぐポイント

乳児や幼児は、大人より新陳代謝が活発で体温が高いのが特徴です。しかし大人と比べて、汗腺の発達が未熟なため、うまく体温調節をすることができません。炎天下の車の中など、体温よりも周囲の温度が高くなる場所では、短時間で体温が上昇し、生命に危険が及ぶこともあります。

1 顔色や汗のかき方を十分に観察しましょう

子どもを観察したとき、顔が赤くひどく汗をかいている場合には、深部体温がかなり上昇していると推察できるので、涼しい環境下で十分な休息を与えましょう

2 適切な飲水行動を学習させましょう

喉の渇きに依じて適度な飲水ができる能力を磨きましよう

3 日頃から暑さに慣れさせましょう

日頃から適度に外遊びを奨励し、暑熱順化を促進させましよう